



報道機関各位

平成29年9月15日

健康福祉部健康増進課感染症対策グループ
担当者 野路、上藤
電話番号 0776-20-0351
県庁内線番号 2625、2626

RSウイルス感染症が例年より早く流行しています！

RSウイルス感染症は、主に冬期に流行しますが、今年は、例年より早く流行しています。

RSウイルス感染症は、乳幼児（特に生後3か月以内の乳児、早産児、心臓や肺に基礎疾患のある乳幼児など）が感染した場合、重症化するリスクが高いため注意が必要です。また、高齢者でも重症となる場合があります、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。

つきましては、県民の皆様にはRSウイルス感染症についての注意喚起をお願いします。

記

（RSウイルス感染症とは）

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症です。生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%が少なくとも1度は感染すると言われています。

（RSウイルス感染症の症状）

感染から2～8日（典型的には4～6日間）後に発熱、鼻汁などの症状が出て数日続きます。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、その後咳がひどくなる、喘鳴が出る（呼吸がぜいぜいとする）、呼吸困難となるなどの症状が現れ、場合によっては、細気管支炎や肺炎になります。初感染乳幼児の約3割では咳が悪化し、喘鳴、呼吸困難などの症状が現れます。乳幼児にこれらの症状が現れた場合には、早めに医療機関を受診することが重要です。

（RSウイルスにはどのように感染しますか）

飛沫（咳やくしゃみのしぶきなど）や接触（ウイルスがついた手やものに触れるなど）で感染します。

（RSウイルス感染症の予防）

外出後などにしっかりと流水とせっけんによる手洗いをしましょう。

咳などの症状がある場合には、乳幼児と接する際にマスクを着用しましょう。

厚生労働省「RSウイルス感染症に関するQ&A」

URL: http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html

福井県「RSウイルス感染症が流行しています！」

URL: <http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/rs-virus.html>

<参考>

